

さいたま市シニアユニバーシティ 東浦和校
第15期校友会主催

開催日 2024年3月28日(木)
13:30開場 14:00開演
会場 埼玉会館 小ホール

出演者のご紹介

佐田山 千恵 (ソプラノ)

ミラノ市立音楽学院にて声楽と歌唱表現のコースを最高位で修了、ディプロマを取得しロンドンにて更なる研鑽を積む。第3回及び4回マダム・バタフライ国際コンクールin長崎入賞。海外での演奏歴が多数ありイギリス・ウィンザー城にてチャールズ国王主催パーティーで歌い讃辞を受けた他オランダ音楽祭等に出演。PMF 2010にてF.ルイーザ指揮「ラ・ボエーム」ミニ役でデビュー、2023年には藤原歌劇団オペラ「トスカ」タイトルロールで本公演デビューした。「蝶々夫人」及び「椿姫」タイトルロール、「カルメン」ミカエラ、「こうもり」ロザリンデ、「道化師」ネッタ、「フィガロの結婚」伯爵夫人他、「ドン・ジョヴァンニ」「コジ・ファン・トゥッテ」等に出演し高い評価を得ている。鳥取県で定期的にコンサートを企画、韓国KBSテレビに出演等、国内外で活動。「琴線に触れる声」と称され、華麗な舞台姿とテクニックで聴衆を魅了し絶賛されている。藤原歌劇団団員、日本オペラ協会会員、とっとりふるさと大使。鳥取県米子市出身。



澤崎 一了 (テノール)

国立音楽大学卒業。第53回日伊声楽コンクール第2位及び五十嵐喜芳賞受賞。第2回V.テッラーノーヴァ国際声楽コンクール第1位。藤原歌劇団公演にて、2016年「トスカ」のスポレッタでデビュー。18年「道化師」のペッペ、19年「ラ・トラヴィアータ」のアルフレード、20年「カルメン」のドン・ホセ、21年「蝶々夫人」ピンカートン、「清教徒」アルトゥーロ役でいずれも高い評価を得た。15年ビントでのトラエタ・オペラフェスティバル「蝶々夫人」ピンカートンにてイタリアデビュー。その他、宗教曲や「第九」等ソリスト、天皇陛下御即位二十年奉祝曲「太陽の光」を歌うなど、多岐に渡り活躍をしている新進テノール。藤原歌劇団団員。立教池袋中学・高等学校講師。神奈川県出身。



大園 麻衣子 (ピアノ)

千葉県出身。国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。在学中オペラ研究会に所属しオペラ歌手と作品に魅了される。以来、声楽家との共演ピアニスト、コレペティートル(オペラ歌手のコーチ)として、全国で活発に演奏活動を行っている。2015年4月ビント市のトラエッタ劇場、バルレッタ市のクルチ劇場公演「蝶々夫人」にてオーケストラの一員として、イタリアデビュー。現在、国立音楽大学院オペラ科ピアニスト。藤原歌劇団正団員。さいたま市見沼区在住。



椿 義治 (サクソフォン)

神奈川県出身。エリザベト音楽大学を経て、同大学院音楽研究科修士課程修了。卒業演奏会、日本サクソフォン協会「新人演奏会」他多数出演。これまでにサクソフォンを宮田麻美、宗貞啓二の各氏に、室内楽を宗貞啓二、大森義基の各氏に師事。現在、ソロ活動をはじめ、アーバンサクソフォンカルテット、カメラリアサクソフォンカルテット、シュピール室内合奏団の各メンバーとして全国各地で演奏活動を行うほか、後進の指導やコンクール審査員なども多数務める。(一財)地域創造・公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。横浜市立戸塚高等学校音楽コース非常勤講師。オフィシャルサイト「tsubakisax.com」



高瀬 真由子 (ヴァイオリン)

ロンドンにてヴァイオリンを始める。英国王立音楽院のサタデースクールにてオーケストラ・室内楽を学ぶ。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。第5回大阪国際音楽コンクール大学の部にて第3位(1位なし)、日壊文化協会主催「フレッシュコンサート2004」奨励賞、第4回ルーマニア国際音楽コンクールにてジョルジュ・エネスコ賞、第23回リトル・カメラリア・コンクールにて第1位及び大阪府知事賞など、各賞を受賞。これまでにヴァイオリンを、佐々木由実、鈴木亜久里、石井志都子、漆原啓子の各氏に、室内楽を金木博幸氏、東京カルテットに師事。平成20年度・28年(一財)地域創造公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業に参加し、小学生や地域住民とのふれあいコンサート等でクラシック音楽の普及に努めるなど、多方面に渡って意欲的に活動している。横浜市栄区民文化センターリリス・レジデンス・アーティスト。2015-16シーズン兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・プレイヤー。2014年7月初のソロCDアルバム「Meditation」をリリース。現在、東京フィルハーモニー交響楽団 2ndヴァイオリン・フォアシュペーラ奏者。

